



牛にも人にも優しい牧場を 佐藤あかねさん(上竹田)

ピカピカの牛舎で重機を操るのは、佐藤牧場の佐藤あかねさん。

もともと動物が好きだったが、旦那さんと一緒に山形村へ来て、牧場の仕事を始めた。新築された牛舎では、牛にも働く人にもストレスの少ない環境を作りたいと、換気扇を付けたり、土の上に草を敷いた寝床をつくるなど工夫している。なるほど、どの牛も大切に育てられて毛並みが艶やかで人懐こく、優しい目をしていた。

(10月27日 佐藤牧場にて)

働
姿

「純」初優勝

10月19日(土)、トレニーニングセンターふるさと大ホールにて、ナイターソフトボール閉会式が行われました。

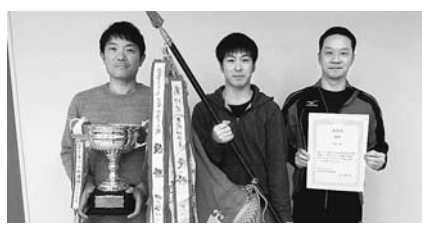
令和元年のAリーグ優勝チームは「純」で、チーム発足以来初めての優勝とのこと。閉会式後はチームで祝宴を予定しており、皆さん大変嬉しそうでした。出場された各チームの方お疲れ様でした。



純

早起き野球閉会式

10月26日(土)、トレニーニングセンターふるさと大ホールにて、早起き野球閉会式が行われました。リーグ戦・トーナメント戦の優勝チームや、目覚ましい活躍を見せた選手などが表彰され、式後の祝宴で互いの健闘を称えあいました。



リーグ戦 優勝 YBC

絵画(ピエゾグラフ)の寄贈をいただきました



原田泰治
「ジャカラダの丘」

ピエゾグラフとは... 原画にもっとも近い複製で、今回の作品は画伯自ら色校正・刷り指示に基づき限定作成された200部の内の1点となります。

藤森英和さん(塩尻市)、村田信一さん(中大池)のご厚意で、村に絵画の寄贈をいただきました。寄贈品はトレニーターホールに展示しておりますので、ぜひ皆さんご覧ください。



トーナメント戦 優勝 四ツ谷アップルズ

炊き出し名人研修会

10月26日(土)、保健福祉センターにて、山形村赤十字奉仕団主催の炊き出し名人研修会が開かれ、松本市炊き出し隊みらいの浅田修吉さんがユーモアを交えながら講義を行いました。

湯せん調理のほか、現場体験に基づくアドバイスもあり、参加者は真剣な表情でメモを取っていました。残念ながら参加できなかった皆さんに、誌面を借りて炊き出しの心得をいくつか紹介したいと思います。

1. 日持ちしない食材から使用する

冷蔵庫の中の食材から使いましょう。日持ちする乾パンなどを利用するのはその後です。

2. 省エネを心がける

被災時の燃料は貴重品です。湯せん料理後のお湯は発砲スチロール箱などで保管して再利用しましょう。

第5回 バドミントン初級者交流大会

10月27日(日)、トレニーニングセンター体育館にて、バドミントン初級者交流大会が行われました。当日は募集定員40名を超える多くの参加があり、開会式後早速4チームに分かれて対抗戦が始まりました。初心者向けかと思っていると、経験者も混じりレベルの高い試合があり、外は肌寒いけれどコートの上では熱い闘いが繰り広げられました。



今秋の台風や長雨で山形村は幸いにも大きな被害が発生しませんでした。が、過去に土砂災害で人命が失われたことがあります。

「想定外」の災害があちこちで発生している今、「もし起こったら？」を真剣に考えてみましょう。

山すそ

子どもたちが中学・高校に進学して、私だけの時間が少なくなってききました。が、特に趣味もない

私は、録画してあるドラマを見たりグラグラしてしまいます▼何かやってみたいことは?と考えた時、おぼちゃんだけど、山ガールになってみたい!と、ひらめきました。でも、基本的に私は動きません。ショッピングモールに買い物に行けば次の日、脚はパンパンに。村のソフトバレーボールは、コートに立っているだけなのに、次の日から全身筋肉痛になってしまいます▼もし、震災などで車が使えなくなったら、私は仕事場から自宅まで帰れないのでは:と焦り、週に2〜3日、寄れる時だけと自分に負担をかけないようにしてスカイパークで30分位歩くようになりました▼初日は、歩いただけなのに疲れて夜は爆睡でした。今更ですが、スカイパークはいろいろな人が歩いたり走ったりしています。走っている人を見れば、私も真似して走ってみるものの、数10メートルで息が上がり反省▼山歩きは、今すぐは無理そうだけど、体力作りを始めた秋でした。

図書館からのお知らせ

*図書館講座

「安全なお米とお味噌で健康に」
安全な稲づくり、安心な食について考えます。

日時：12月8日(日)午後1時30分
～午後3時30分

場所：トレーニングセンター
ふるさと大ホール

講師：自然耕塾@高山村代表
園原久仁彦さん

*クリスマスの「おはなしの会こぐま」

クレヨンママによる楽しいおはなし会を開きます。

日時：12月19日(木)
午前10時30分～

場所：トレーニングセンター
めばえの部屋

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.44

編集＝山形村図書館

「信州の宝になりました」 縄文土器の展示は大にぎわい

昨年、県下の特色ある縄文土器158点が県宝指定されました。山形村の遺跡から出土した5点の縄文土器も指定を受けました。それを記念して、5点を一堂に展示した「山形村県宝お披露目展」が行われました。会場になった山形村図書館には、連日、村内外から多くの方が見学に来ていました。360度見られるように展示ケースも一新し、多くの縄文土器ファングがさまざまな角



度から写真を撮っていました。有孔罅付土器は模様がニコニコした顔のように見えると話題でした。12年前に下原遺跡で出土した時の様子を懐かしそうに語ってくださる方もいました。

「この土器は、いつもはどこにあるの？」という質問も多く聞かれました。ふるさと伝承館の他の貴重な資料とともに、いつでも見られる環境が望まれます。

秋の図書館企画 「水彩画でブックカバーを作ろう」

秋の読書週間に先立ち、10月19日(土)、トレーニングセンターめばえの部屋で、ブックカバー作りをしました。画家の若狭宣子さんを講師に迎え、18人が楽しみました。織維の入った丈夫な和紙に、白い鉛筆で絵や模様を描き、その上から水彩絵の具で色を付けていきます。できあがった作品は、絵のように飾って

もよし、ブックカバーにしてもよし。にじみ具合がとてもしっかり仕上がりました。



フィルムの時代を懐かしむ 「映像の歴史」展

「昨年のラジオ展は音の歴史だったから、今度は映像の歴史はどうですか？」



松本市の務台秀夫さんの提供を受け、10月31日(木)～11月13日(水)、8ミリフィルムの撮影機や映写機、幻灯機やスライド映写機などを展示しました。1950年代～70年代に家庭で親しまれた8ミリフィルムは懐かしむ人も多く、文化祭中は遠方からの見学者も多く賑わいました。サイレント(音声なし)の映画「鉄腕アトム」「ウルトラマン」とトリーキー(音声あり)の映画「名犬ラッシー」「アルプスの少女ハイジ」も上映しました。フィルムがカタカタと回る様子を、子どもたちが興味深そうにのぞき込み、昭和の映画館を思い出すひと時でした。



おすすめ新着本紹介

0.1.2 えほん 『ちいさなふね』
笠野裕一 (福音館書店)



「ボンボンボン」という繰り返しのリズムが楽しい一冊です。0.1.2歳向けのシリーズが10冊入りしました。『風を切って走りた！夢をかえるバリアフリー自転車』
高橋うらら (金の星社)

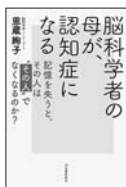


体の不自由な人が乗れる自転車を作ろう！40年間で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田健一さんの挑戦を描きます。
『緋色のマドンナ』
那須田 淳 (ポプラ社)



NHKの朝の連続ドラマ「スカレット」のモデル、陶芸家の神山清子さんの人生を描いた物語です。

『脳科学者の母が、認知症になる記憶を失うと、その人は、その人“でなくなるのか？”』
恩蔵 絢子 (河出書房新社)



アルツハイマー型認知症だと診断された母親の日常生活を、脳科学者である娘が2年半にわたって記録していきます。認知症は「その人らしさ」にどんな影響を与えるのでしょうか？

総合文化祭



センターにて総合文化祭が開催されました。和の空へ”と題してふるさと大ホールは各団体の作品などが展示されました。



バルーンアート



KID'S DANCE BOX



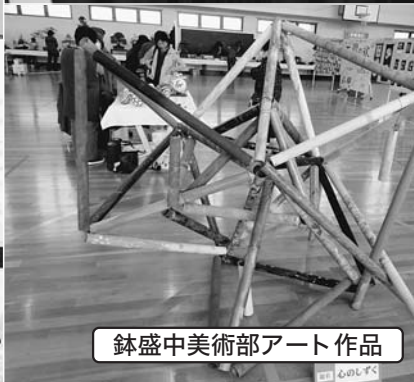
音楽クラブ



暁岳流吟詠山形道場



山形小学校



鉢盛中美術部アート作品



やまのこ保育園



陶遊会



防犯協会



山野草の会



民話クラブ「灯」



こどもコーラスTanpopo

第69回山形村



彌磨太鼓



夕月琴クラブ



鉢盛中合唱部



タップ&パントマイム

11月2日(土)、3日(日)トレーニングセ...
た。今年のテーマは“翔べ!文化の翼”令...
で14団体の芸能発表会が行われ、体育館に



手まり教室



本館食堂



フラワーアレンジメント



子ども会育成会



ウインドアンサンブル

山形村で初めての
県宝
お披露目する展示 (11月2日、3日)

祝・県宝指定!

「庄川の特産ある縄文土器」に指定された土器

ふるさと伝承館



リサイクルブック



フラサークル



山形ジョイ♪ハーモニカ



玲心会

市場では、青果や花のセリを目の前で見て、迫りに圧倒されました。

ツルヤ山形店では、お店の方や買い物中のお客さんにインタビューしました。

清水寺の見学中に雨に降られてしまいましたが、村の大切な宝であることを実感できました。

10月18日(金) 小学校3 学年社会科見学



子育て支援センターすくすくにて「すくすくまつり」が行われました。

ジャック・オー・ランタンがもらえる人気のガチャポンコーナーや、仮装して撮影の出来るフォトコーナーなどがあり、村内外から訪れた多くの家族連れが楽しんでいました。

10月27日(日) すくすく・ハッピー・ハロウィン



山 っこ 情報局



1 番人気だった、ハーバリウム教室

11月9日(土) 小学校PTAあそびの広場

山形小学校にて、PTA主催の「山小あそびの広場」が開催されました。5つのプログラムの中から希望する教室を選び参加してもらう企画で、大勢の児童が楽しそうに取り組んでいました。



10月31日(木)・11月1日(金) 小学校6 学年修学旅行

1日目: 国会議事堂、東京タワー、国立科学博物館、浅草寺を見学し、隅田川の水の上バスからの夜景も楽しみました。

2日目: ディズニーランドに行ってきました。「はじめを行動に表し、自分たちで創る修学旅行にしよう」という学年目標を実践し、充実した2日間になりました。

11月7日(木) 小学校持久走大会

山形小学校で持久走大会が開催されました。当日は時おり強風が吹く中ではありましたが、児童たちはそれぞれの目標達成のために精一杯走っていました。



おめでた(子・親) 風 (敬称略)

- 松林 一歩希 (浩司) 下竹田
- 細川 咲希 (将志) 下竹田
- 横水 結衣 (平盛) 下竹田
- 眞野 瑚々乃 (敬輔) 下竹田
- 杉本 悠叶 (賢治) 下大池
- 宏美 (賢治) 下大池
- 本庄 治仁 (85歳) 上大池
- 横水 吉歳 (65歳) 下竹田
- 百瀬 千恵子 (85歳) 下竹田

バルーンアート講座

10月30日(木)、トレーニンングセンターにてバルーンアート講座が開講しました。初回のこの日は、文化祭に飾れるようにと花を作りました。最初は割れてしまわないかと緊張した雰囲気でしたが、40分程で作品が完成に近づくと、笑顔があふれていました。



世代を超えたふれあい

10月27日(日)、上大池コミュニティセンターにて、上大池「夢♥ふれあい隊」と山形村社会福祉協議会主催の『上大池ふれあいDAY』が開催されました。参加者は、振舞われた手打ちそばを食べたり、村内を中心に活動されている音楽団体5組の演奏を聴くなど、年代を超えた良いふれあいの機会となりました。



『まつぼっくり』歌碑建立

11月4日(月)、上竹田の見性寺で童謡『まつぼっくり』の作曲者である小林つや江さんへの建立された歌碑の除幕式が行われました。

小林さんは、音楽教諭として大正から昭和の幼児音楽教育に尽力され、全国の音楽教師への指導・講習も長年に渡り行いました。また、上皇后さまのご実家正田家と親しかつたこともあり、幼少期の美智子さまにピアノをお教えになったそうです。

除幕式の後に、こどもコーラスTanpopoが「まつぼっくり」を歌い、親族や関係者と共に歌碑の建立を祝いました。



《まつぼっくり》歌詞

まつぼっくりが
あったとさ
たかいおやまに
あったとさ
ころころころころ
あったとさ
おさるがひろって
たべたとさ



「キーびき」土器お作り

10月20日(日)、トレーニンングセンターめばえの部屋にて、ドキ！どき！土器しお作りが行われました。村の縄文土器5点が県宝に指定されたことを記念する事業の一環として開催されました。



本物の土器のかけらを用いて、拓本を取りラミネートしてしおりが完成しました。

道祖神と新そば祭り

11月10日(日)、ミラ・フード館周辺にて第30回新そば祭り、第4回山形村産業フェアが開催されました。気持ちの良い秋晴れとなり、村内外から訪れた人びとが新そばや物産展のブースに列を作っていました。



告知板

山形村×縄文連続講座開催のお知らせ

山形村の遺跡から出土した縄文土器5点が長野県宝に指定されたことを記念して、縄文時代に関する連続講座を開催します。入場無料、予約不要です。多くの方のご来場をお待ちしております。

■第一回 令和元年12月7日(出)

講師 直井雅尚さん(日本考古学協会)
テーマ 「松本平の縄文時代」

■第二回 令和元年12月21日(出)

講師 和田和哉さん(山形村役場職員)
テーマ 「山形村の縄文遺跡」

■第三回 令和2年1月11日(出)

講師 会田進さん(前県文化財保護審議会委員)
テーマ 「信州の特色ある縄文土器 山形編」
—縄文人は何を食べたか—

■第四回 令和2年1月25日(出)

講師 赤羽義洋さん(辰野美術館学芸員)
テーマ 「縄文再発見! —造形の魅力と謎—」

※時間・会場は各回共通

時間 午前10時〜午前11時45分

場所 ミラ・フード館 ホール・ミラ

お問合せ 山形村教育委員会 ☎98-3155

やまがた村「たつdeみらい」会議のお知らせ

山形村公民館では、20年後の村について一緒に考えてくれる仲間を募集します。自分や村の将来について、あたたかい「公民館のこたつ」にあたりながら、みんなで話し合います。

日時 令和元年12月14日(出) 午前10時〜2時間程度

場所 トレーニンングセンター

対象 村在住で小学4年生〜概ね30歳代まで(先着40名)

お申込み 山形村公民館 ☎98-3155



山形村 早起き野球連盟

～50周年～



絆

KIZUNA

平成から令和に変わった今年、山形村早起き野球連盟が節目の50周年を迎えました。昭和45年に発足してから今に至ります。

いつの時代も野球を愛する仲間が集ったからこそ、こうして50年という長きに渡り存続してこれたのだと思います。

10月26日(土)には、山形キヨミズの子どもたちと早起き野球連盟に所属する50歳以上の選手による記念試合などが行われました。結果は3対0で山形キヨミズが勝利しました。

素晴らしいプレーの数々は、これから山形村を担っていく子どもたちが、とても頼もしく見えた瞬間でもありました。

これからも、山形村の早起き野球が更なる未来へと続いていくことを願っています。



あやか
岩下 彩夏さん

中大池

中二・かに座



がく
藤澤 岳さん

小坂

小二・ふたご座



バスケットボール
に夢中



将来の夢は、小学生の頃から習っている英語に関わる仕事をしてみたいと話してくれました。

勉強とともに、部活動のバスケットボールにも一生懸命取り組んでいる彩夏さん。練習試合を撮影したビデオを見ながら、バスケットボール経験のあるお母さんと一緒に自分のプレーを研究しているとのこと。その成果もあり、秋の新人戦では中信地区4位の好成績を上げました。学校の部活の他にクラブチームにも所属しており、今はとにかくバスケットに夢中！

もっと
うまくなるぞ



父親の影響でサッカーを始めた岳さんは、山形少年サッカークラブとつばさ倶楽部サッカースクールで腕(脚?)を磨いています。各クラブで週1回ずつの練習だけでなく、自主練習もしているそうで、「自分がドリブルで持ち込み、シュートを決めた時が一番うれしい。もっとドリブルが上手になりたい」と話してくれました。